

貴研究室についてお尋ね致します。

(1頁目)

1. 研究室の構成メンバーの質問です。

貴研究室の構成メンバーについて、給与を受けている人数、給与を受けていない人数、また、それぞれの人数の中で、常態として実験に携わる人数はそれぞれ何人ですか。

記入欄 (該当する人数を記入して下さい。)

A:給与を受けている人数 (教授、助教授、講師、助手、技官、派遣等)	A: 人
B:給与を受けていない人数 (博士課程、修士課程、学部生等)	B: 人

また、それぞれの人員の中で、	
C:常態として、実験に携わる人であって、給与を受けている人数	C: 人
D:常態として、実験に携わる人であって、給与を受けていない人数	D: 人

注：給与の有無で、仕分けた理由は、労働安全衛生法の「労働者」は、「職業の種類を問わず、事業又は事業所に使用される者で、賃金を支払われる者」であり、賃金を受けていない学生が、念頭にない為です。今後、学生の取扱いが、重要になって来ます。

2. 研究室の広さの質問です。

2 - 1) 名目上と実質とで、差がありましたら、実質上、使用されている面積をまた、複数の研究室を使用されている場合は、合計面積で、お答え下さい。

研究室は、実験室と居室とで、分けてお答え下さい。居室を兼ねている実験室は、仕分けをお願いします。

記入欄 (数値を記入して下さい。)

実験室	実験室で、居室兼用	居室
m ²	m ²	m ²

2 - 2) 主となる実験室が、居室を兼ねている場合は、総面積上、構造上、小額予算での分離が可能か否かをお答えください。(有機溶剤等を扱う場合は、扱う場所と居室とを分離する必要があります。)

記入欄 (をつけて下さい。)

A: 可能	B: 大半可能	C: 不可能	D: 不要
-------	---------	--------	-------

注：労働安全衛生法では、量、および取扱いの仕方などにより、多少の違いがありますが、主として、以下のような物質が対象になっています。

労働安全衛生法

* 有機溶剤等 (例：アセトン、トルエン、酢酸エチル等、及びそれらの含有物)

* 特定化学物質等 (例：ベンゼン、アクリロニトリル等、及びそれらの含有物)

注：研究室での状況を記入してください。

(2 頁目)

また、コメントが、ありましたら、コメント欄にお書き下さい。

- 3 . 国立大学法人化の場合、安全衛生に関しては人事院規則から労働安全衛生法への変更となりますが、大学より、情報を入手していますか？ (をつけて下さい。)

A : (大学を通じて入手している)

B : (大学以外から入手している)

C : (何も情報を入手していない)

コメント : _____

- 4 . 大学は、労働安全衛生法への対応準備を進めてすすめていますか？ (をつけて下さい。)

A : (大学として同法を意識した対応準備を始めている)

B : (何等かの対応準備を始めている)

C : (対応準備の動きは無い)

コメント : _____

- 5 . 化学薬品のデータベース化は、行われていますか。 (をつけて下さい。)

A : (全学 LAN で全てデータベース管理がされている)

B : (部局で全てデータベース管理されている)

C : (されていない)

D : (対象の物質を取り扱っておらず、不要である)

コメント : _____

- 6 . 研究室のドラフト利用者とドラフトの台数及び割合の程度についてお伺い致します。

研究室のドラフトの数 ---- (台)

冒頭の設問の常態的に実験に携わる人数からドラフトの台数は十分ですか。 (をつけて下さい。)

A : (十分である)

B : (若干、不足している)

C : (かなり不足している、又は、全く足りない)

D : (不要である)

コメント : _____

- 7 . 有機溶剤等や特定化学物質等を取り扱う場合に、ドラフト等(他の局所排気装置を含め)の機能は、十分ですか。 (をつけて下さい。)

A : (すべてドラフト等で、吸引されている)

B : (ドラフト等の能力が不足している。または、有効利用されていない)

C : (ドラフト等の数が不足している)

D : (対象の物質を取り扱っておらず、不要である)

コメント : _____

8 . 有機溶剤等や特定化学物質等では、ドラフト等からの排気処理することが求められることが想定されます。(をつけて下さい。)

A : (すべて、処理して排気している)

B : (ほとんど、処理して排気している)

C : (一部しか処理していない。または、処理設備がない)

D : (対象の物質を取り扱っておらず、不要である)

コメント : _____

9 . 作業環境測定を測定していますか。(をつけて下さい。)

A : (資格者により作業環境測定を実施している)

B : (資格者ではないが、自主的に作業環境測定を実施している)

C : (作業環境測定をしていない)

D : (対象の物質を取り扱っておらず、不要である)

コメント : _____

10 . 取り扱う物質によっては、一般健康診断以外にその業務従事者に特殊健康診断が必要です。

A : (該当する特殊健康診断を受診している。または、不要である)

B : (全てではないが、作業に応じて、一般健康診断以外の健康診断を受診している)

C : (一般健康診断以外には受診していない)

D : (対象の物質を取り扱っておらず、不要である)

コメント : _____

(付録)

11 . 労働安全衛生法は「労働者」の健康障害防止を一つの目的にしており、学生は労働者の定義から、外れますので、学生をどう取り扱うことが望ましいとお考えですか。(複数可 をつけて下さい)

A : (学生にも、労働者に準じて、適用していく)

B : (労災保険を掛けるなど、その他の救済手段を実施する)

C : (特に、何もしない。定義に従う)

コメント : _____

12 . 取り扱う物質は、どの様な、保管管理をされていますか。(をつけて下さい)

A : (毒物劇物などは、鍵をかけて保管している)

B : (自主的に、管理している)

C : (保管管理を見直す必要がある)

D : (対象の物質を取り扱っておらず、不要である)

コメント : _____

ご協力ありがとうございました。

(社) 日本化学会 環境・安全推進委員会